

## The way is open where there is a will

～意志あるところに道は開ける～

キャリア教育部通信 第8号

令和5年12月1日

中学生のみなさんへ

キャリア教育部

**人生熱く生きよう！**・・・自分の人生、熱く生きてほしいです。読んで、少しでも熱くしてもらえたら嬉しいです。

本気でやれば、愛や自分の真心と向き合えて

本気でやれば、何かを動かすことができ

本気でやれば、本気の仲間ができて

本気でやれば、悔しくて

本気でやれば、楽しくなって

本気でやれば、できないコトはない！！

いつの時代も常識は非常識から生まれる。

どうせ人間の最後は燃えます。

だったら身体が燃え尽きるまで、心を燃やし続けよう！！

**人生熱く生きよう！！**

そして、人生楽しんでいこう！！（株式会社0's company 代表取締役 大上泰弘）

本気でやれば・・・本気で自分の人生を考えていますか？本気で部活動をしていますか？本気で勉強していますか？本気で取り組んでいることがありますか？

**本気になれる心を持つとう！**

「熱さ」というのは、自分・人・社会を「より良くしたい」というエネルギーです。誰も本心から「もっと悪くしたい」とは思っていません。

熱さ、つまり「より良くしたい」というエネルギーは誰もが持っています。ですから、生まれつき「熱い人」と「冷めた人」がいるんじゃないかと、誰もが熱く生きられるんです。ただ、「熱く生きるという選択をしている人」と「熱く生きないという選択をしている人」がいるだけです。

以前の僕は「熱く生きる人」をバカにしていました。否、バカにすることで自分を正当化していました。本当は熱く生きたかったんです。周りから冷ややかな目で見られるのが怖かったし、全力でやって失敗することも怖かった。

熱くならないようにセーブすることで、傷つかないように、傷つかないように、がんばっていたんです。

でもある時から、熱く生きることが当たり前のコミュニティに足を踏み入れました。最初は恐る恐る熱さを開放しました。ところが、誰も冷ややかな目を向けてきません。むしろ「いいね!」「がんばって!」と応援してくれて、アドバイスをくれました。

なんだか居心地悪くて、妙な違和感もありました。でも、次第に心地よくなってきました。それ以来、徐々に熱さを開放してきました。

「こんなことが起こったらどうしよう」と恐れていたことのほとんどは、置きませんでした。起きてても、大したことありませんでした。

怖い怖いと思っていたのは、僕が勝手に創り出した妄想だったんです。

あなたももしかしたら、熱く生きないようにブレーキを踏んでいるかもしれません。それが常識的なオトナだし、傷つかずに済むと思っているからです。

でもあなたは間違いなく「熱い人」です。いいんですよ、熱く生きてても。ぜひ、熱く生きてください。

**熱さを開放することで、どんどん自分らしく、生き生きしてきます。なぜならそれが、「もっと良くしたい」という人間本来の欲求にしたがった生き方だからです。**

熱く生きて笑われる側がいいのか、冷めて生きて笑う側がいいのか、どっちが好きかという話です。熱く生きるあなたを笑ってくる人は、あなたの人生にとって重要な人ですか？その人の目を気にすることが、あなたの人生を本当に豊かにしますか？

(Hatena Blog 意識と行動で人生は好転する！ より)

大きくても30センチほどのヤマメと、その倍もあるサクラマスが、もともとは同じ魚だということをご存じですか？

川での生存競争に敗れたヤマメの一部が、餌を求めて海へと下り、餌が豊富な海を回遊するうちに大型化したのがサクラマスなんだそうです。そのときは、負けたように思えても、自分で自分に見切りをつけなければ、人生に「負け」なんてものは存在しません。

人と競うのではなく、できることから少しずつ努力を重ね、昨日の自分よりちょっとだけでも成長しようと心がける。そうすれば、いつの間にかサクラマスのようにグリーンと大きくなっているはずですよ。(斎藤茂太)

失敗や負けを経験してサクラマスになろう！若いうちは失敗から学ぶことの方が多いいです。

今年度のキャリア教育部通信の最終号です。中学生のみなさんには挑戦して生きてほしいです。挑戦するから失敗があるのです。そこで、成長もあるのです。

**やりたい・なりたいことに向かって挑戦して生きよう！！**